

2023 年度派遣交換留学修了届

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

■基本情報

留学先国	アメリカ
留学先大学	スノーカレッジ
形態	コミュニティーカレッジ（公立）
学年歴	1 学期目：8 月中旬～12 月中旬 2 学期目：1 月初旬～5 月上旬
学生数	約 6000 人
創立年	1888 年
留学先での所属学部	ビジネス学部
留学時の学年	2 ～ 3 年
留学開始・終了時期	2023 年 8 月 16 日～2024 年 5 月 5 日（約 10 カ月）

■留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
スノーカレッジはソルトレイクシティ国際空港から車で 2 時間半ほど離れた、イフライムという小さな町にあります。スノーカレッジは大自然に囲まれており、周囲を見渡せば山々が広がっているような場所です。町は非常に小さく、町全体を徒歩で移動できるほどです。また、スノーカレッジの人々は町の人々もとても優しく、スノーカレッジで過ごす上で、人間関係に困ったことはありませんでした。
② 留学中はどこに住んでいましたか？
a. 大学寮（スイーツ）： 何人部屋でしたか（2 人）
③ 住環境はどうでしたか？
私はスノーカレッジ付属のスイーツという寮に住んでいました。私が住んでいた部屋は 2 人部屋で、シェアルームでした。バスルーム、洗面所、シンクなどは共用でした。住んでいて特に困ったことはありませんでした。スイーツの 1 階にはレジデントアシスタントというスイーツの管理人の人達がほとんどの時間受付にいるため、何かあればレジデントアシスタントに報告し、すぐに対応してもらえるような環境でした。
④ 現地のインターネット環境はどうでしたか？
スノーカレッジの生徒専用の wifi があり、利用する中で困ったことはありませんでした。
⑤ 食事はどうしましたか？
大学・寮のミールプランに加え、外食や自炊が少々
⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？
留学先では皆がとても積極的に話しかけてくれました。また、日本のアニメや漫画が好きな人がとて

も多く、そのような話から仲良くなることがありました。また、日本のことについて興味を持っている人が多いため、日本の文化について話すことでも仲良くなることがありました。
⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？
車を持っている友達が様々なイエローストーンやアーチーズ、ブライスカニオンといった、多くの国立公園に連れて行ってくれ、余暇を過ごしていました。
⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。
日本の薬を多く持って行き、風邪をひいた時など対応できるよう備えていました。
⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
宗教の違いにより困ったことはありませんでした。ルームメイトによっては生活習慣が異なる場合があるので、共同で生活する上で、相手に合わせたり、自分に合わせてもらったりする必要があると思います。
⑩ どのような保険に加入しましたか。（ ）に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 （ ） b. 個人の保険のみ （ ） c. 大学指定の保険と個人保険の両方（○）
⑪ 予防接種は必要でしたか。（ ）に○をつけてください。
a. はい （○） 具体的に：出国前に新型コロナウイルスのワクチン接種が必要でした。
⑫ 現地で病院に掛かったことはありましたか？
ありませんでした。
⑬ 大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？
可能でした。先生に伝えると病院に問い合わせ、予約をしてくれることもありました。
⑭ 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？
インターナショナルアドミッションオフィスや、学内常駐の警察に相談することが可能でした。
⑮ 現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか？
外務省のホームページを確認し、危険な地域を把握して立ち寄らないようにしました。

■留学先での学習について

① 留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 ※ 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします
② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。 私は授業の登録が自動で行われていました。もし、時間割について相談したいことがあればアカデミックアドバイザーに連絡することをお勧めします。
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。 授業内容がわからなかった時は積極的に周りの人を頼るようにすることで授業を乗り越えることができました。特に、先生はフレンドリーで授業がわかるように説明してくれることで授業内容を理解することができました。また、わからない単語が聞こえてくると、毎回調べることを怠らないようにしていました。

■留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

① 外部語学試験	
〔留学前〕 TOEIC755 点	〔留学後〕 TOEIC825 点
② 資格試験	
〔留学前〕 特になし	〔留学後〕 簿記 2 級の資格取得に向け学習中

■今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。 a. (○) 4 年で卒業予定 b. () 卒業は延期する予定 (延長予定期間:)
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など) 留学中は就職活動に備えるために、TOEIC の勉強を行っていました。留学後は簿記 2 級の取得や TOEIC900 点を超えるようさらに努力したいと思っています。

■留学全般について

① 留学を終えての学習成果を教えてください。 留学直後は英語でしゃべりかけられても全く聞き取ることができませんでした。しかし、留学をする中で、徐々に何を言っているのか聞き取ることができるようになりました。留学を終えた今は、日常会話であれば支障なく会話することができます。また、留学前は英語の文章を読むと集中力を使い、疲れ

てしまうことがありましたが、今は、疲れることもなく、英語の文章を読みたいと思うようになりました。常に英語に囲まれて生活することでこれらの成果が現れたと思います。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

留学をすることで、海外への抵抗が変わったと思います。正直、留学に行く前までは、アメリカは怖いところであると思っていました。アメリカ人は威圧的であると思っていたためです。しかし、スノーカレッジに留学し、アメリカは怖いところであるという認識が変わりました。威圧的な人はおらず、皆が笑顔でしゃべりかけてくれるような、とてもフレンドリーな人達ばかりでした。実際に体験するということの大切さを知ると同時に、私の認識が間違っていたことを知りました。このような私の認識と、実際に現地に赴き体験するということが大切であると思います。これからは、ヨーロッパやアフリカなどに行き、現地がどのような場所であるか知るために、赴きたいと思います。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学が不安、怖いと思っている人がいるかと思います。実際、私は留学直前になって、日本を離れ、アメリカで暮らすことに強い不安感を感じていました。この不安感というのは現地で友達ができるまでは消えることはありませんでした。友達と過ごすことで、毎日が楽しいと感じるようになり、留学をしてよかったと感じるようになっていきました。おそらく、留学に行くまでは不安感が消えないと思います。しかし、この期間を乗り越えることで、かけがえのない思い出を得ることができます。また、海外で生活するということに対して不安感を覚えなくなると思います。留学に行きたいけど、怖いと思っている人こそ留学に行き、海外への抵抗をなくすことが重要です。そうすることで将来、海外で働くということも視野に入ってくるかと思います。

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Personal & Consumer Finance SS		個人と消費者の財政	
科目設置学部・研究科	ビジネス学部		
履修期間	1 月 8 日～5 月 2 日		
単位数	3		
本学での単位認定状況	審査結果待ち		
授業形態	対面		
授業時間数	75 分×週 2 日		
担当教授	M.Andreasen		
授業内容	株式の計算や保険金、税金の計算など		
試験・課題など	テストが全 6 回		
学習成果（自由記入）	日本にはないような保険の内容や、税金の計算項目があることを知りました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Entrepreneurship Seminars	起業家セミナー
科目設置学部・研究科	ビジネス学部
履修期間	1月8日～5月2日
単位数	1
本学での単位認定状況	授業時間数が足りないため不認定。
授業形態	対面
授業時間数	50分×週1日
担当教授	W.Tanner
授業内容	起業家の人達のプレゼンテーションを聞く
試験・課題など	プレゼンテーションの中から毎週、問題が出題される課題がありました
学習成果（自由記入）	起業家の人達のプレゼンテーションを聞き、どのような場面、どのような時に使えるビジネスを行うか、考える必要があることに気づきました。

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
International Partners	インターナショナルのパートナー
科目設置学部・研究科	Teaching English Second Language
履修期間	1月8日～5月2日
単位数	1
本学での単位認定状況	ビジネスのクラスではないため不認定
授業形態	対面
授業時間数	50分×週1日
担当教授	A.Peterson
授業内容	世界の文化を学び、ディスカッションを行う。
試験・課題など	授業で取り上げた国の文化について、問題を出題する課題がありました。
学習成果（自由記入）	この授業では常にグループで活動していました。コロンビア、アメリカの人とグループでした。彼らの文化と日本の文化について知ることができました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：

Community Outreach		コミュニティへの働きかけ
科目設置学部・研究科	Teaching English Second Language	
履修期間	1月8日～5月2日	
単位数	1	
本学での単位認定状況	ビジネスのクラスではないため不認定	
授業形態	対面	
授業時間数	1	
担当教授	A.Peterson	
授業内容	グループで指定された内容のことを調べ、発表する。	
試験・課題など	特になし。	
学習成果（自由記入）	常にグループで行動するため、英語でコミュニケーションを行うことの練習になったと思います。	

■留学費用について

			現地通貨：	円換算：1ドル＝¥155
留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）	
授業料	0	0	授業料は追手門学院大学への支払いのみだったため。	
滞在費	2,050 ドル	318,000	寮費。	
食費	2500 ドル	375,000	10ヶ月分（ミールプラン 1400 ドル込み）。	
図書費	0	0	利用は無料でした。	
学用品費	0	0	教科書など支給されました。	
教養娯楽費	0	0		
被服費	484 ドル	75,000		
医療費	0	0		
保険費	213 ドル	33,000		
渡航旅費（航空運賃・空港税など）	3228 ドル	500,000	行き帰り含む。	
雑費	645 ドル	100,000	旅行先での買物など。	
その他				
合計	8,280 ドル	1,426,000		

以上
